**放課後等デイサービスねくすと自己評価集計結果報告**

実施期間：令和5年６月３０日　　回答数：　５名

1. **環境・体制整備**

➀利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。

➁職員の配置数は適切であるか。

➂事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。

【改善目標、工夫している点など】

・身体障害児の利用は場合によっては厳しい。

**（２）業務改善**

➃業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。

➄保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。

➅この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。

➆第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。

➇職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。

【改善目標、工夫している点など】

・非常勤職員が多い為、全員が一同に集まることが難しいが、グループラインなどを活用しながら情報共有できるように工夫している。また、管理者が毎日常駐しているので伝達はスムーズだ。

・室内スペースはやや狭い感じがする時もあるので、雨天でなければ外を活用するようにしています。

**（３）適切な支援の提供**

➈アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。

➉子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか。

⑫活動プログラムが固定化しないように工夫しているか

⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。

⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。

⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。

⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。

⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。

⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。

⑲ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。

【改善目標、工夫している点など】

・その日の利用者の構成などに応じて工夫している。

・時々子どもへの対応が雑になるので、注意しながら対応するようにしています。

・出来ている時と出来ていない時があるが、次の日等に話し、共有出来ている時もある。

**（４）関係機関や保護者との連携**

⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。

㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。

㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。

㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。

㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供する等しているか。

㉕児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。

㉖放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。

㉗（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。

㉘日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。

㉙保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。

【改善目標、工夫している点など】

・学校との情報共有（年間計画・行事予定等）については、電話やメール等で逐一行っている。

・就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。については、支援相談員から情報提供を頂いている。

・学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供する等しているか。については、問い合わせがあった場合には行う。

・児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携は行っており、引き続き行う予定。

・保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援は日々の送迎時のみでなく、個別に相談機会と時間を設けて行ったり、保護者からの相談には丁寧に回答している。

**（５）保護者様への説明責任等**

㉚運営規模、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。

㉛保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適宜応じ、必要な助言と支援を行っているか。

㉜父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。

㉝子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。

㉞定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。

㉟個人情報に十分注意しているか。

㊱障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。

㊲事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。

改善目標、工夫している点など】

・保護者に対するアナウンスは丁寧に行っている。

・保護者や家族、支援相談員等を交えてイベントを行う予定だったが、新型コロナウイルスの状況により開催が出来なかった。今後は新型コロナウイルスの状況下でのイベントを検討する予定。

・保護者から面談希望があった時には、速やかに対応している。

・個人情報については、ケース会議でのデータベースをまとめた紙媒体の持ち出し、ＳＮＳでの保護者とのやりとりやブログに載せる加工前の写真も含めた電子保存媒体を必要な限りについてのみ持ち出すが、基本的には持ち出し禁止とし取り扱いには充分に注意している。

・まだまだコロナ禍なので地域住民等を招待する等は難しいが、今後検討をする予定。

**（６）非常時等の対応**

㊳緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか。

㊴非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。

㊵虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか。

㊶どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。

㊷食物アレルギーのある子どもについて、対応がされているか。

㊸ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。

【改善目標、工夫している点など】

・管理者が毎日出勤しているので助かる。

・非常災害の発生に備え必要な訓練等を行えない場合の支援員には、ビデオ視聴の研修を受けてもらっている。

・虐待防止や身体拘束等のセミナーと講習を当事業所の必要項目としており定期的に行っている。

・ヒヤリハット事例については、アクシデント報告を作成し、スタッフ間で共有をしているが、より良いフィードバックに生かすよう、今後、スタッフ間で話し合う事で新しい気づきを見つけ、支援の修正、共通認識出来るよう、作成していく。